



本社工場



管理部 石井 智久 さん

自社開発のさくらんぼ選別機です。

おしごと拝見

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 23

受け継がれるクラフトマンシップ

当社は大正15年に創業して以来、稲作用を中心に農業機械の開発・製造を行っており、これまで900を超える特許を取得しました。

水稻の苗床などに使用する細かい土を作るための砕土機や、蒸気により苗が成長しやすい環境を保つ育苗器、コンバインで収穫した籾を搬送・排出する動力付きコンテナなど、さまざまな製品を提供しています。

当社の製品は全て自社開発で、構想から製品化までの間、試作・実験・改良を何度も繰り返し、完成度の高い製品を目指しています。

「この作業が機械でできたら」を実現

製品改良や新製品開発には、お客さまのさまざまなご要望を聞くことが重要です。地元はもちろんのこと、東北や北陸を中心に全国を営業マンが飛び回り、それぞれの地域の課題を持ち帰って、製品に反映させます。

最近では、研究機関との共同開発により、代かきと同時に水田に種籾を直接播く、直播方式の播種機を開発しました。これは稲作における低コスト化と省力化を同時に実現するもので、この2月に東北経済産業局の地域産業資源活用事業計画の認定を受けています。

【企業の概要】

沿革 大正15年石井農機製作所として創業、昭和39年株式会社石井製作所に組織変更
 商号 株式会社石井製作所
 資本金 4,500万円
 住 酒田市局字惣田15-2 ☎93-2211
 代表者 代表取締役 石井 正三
 従業員数 56人
 事業内容 農業機械器具などの開発、製造、販売
 ホームページ <http://www16.plala.or.jp/is-homepage/>



無コーティング代かき同時播種機



アーク溶接作業

育苗器の部品を加工しています。放電現象による高熱で、金属材料を溶かしてつなぎ合わせます。

トラクターの代かき機に接続します。従来直播に必要だった種籾の鉄粉コーティングをせす。代かきと種まきを同時に行うことができます。

すくすく 子育て講座 84

うそをつく

●お問い合わせ／市子育て支援課 ☎26-5735

東北公益文科大学教授
 國眼 眞理子 先生

子どもは3歳くらいになると、大人に「してはいけないよ」と言われたことはやらないほうがいいと理解するようになります。そしてこの頃から「うそ」が始まります。ある日のことです。ユーちゃんは、ママがお兄ちゃんのためにとっておいたおやつを、我慢できずに食べてしまいました。あとからそれに気付いたママに「食べたの？」と聞かれて、思わず「うん、食べてない」とユーちゃん。でも口の周りにはチョコレートが…。

この頃はまだ、なぜそれが悪いことなのかはわからないのですが、悪いことをしたと思えば、それを隠すことはできません。うそであることがばれないようにするためには、話のつじつまを合わせなければなりません。3歳児にはこれができません。「知らないお兄さんが来て食べちゃった」などと、大人が簡単に見破れるうそが多いのです。子どもがうそをつくとき、どうしてこんな子になってしまったのかと、大人はがっかりします。が、一口にうそと言っても、発達の途上では、願望と現実が混在してしまつために起こるうそもあります。例えば「お兄ちゃんがくれるといいな」と思っていると「お兄ちゃんがお菓子をくれた」と思つてしまつただつてあるのです。

3歳、4歳の頃は強く叱らないことです。子どもにとって保護者は大切なひと。その大切なひとから見捨てられるかもしれないと思ふことはつらいことです。「ユーちゃんは、お兄ちゃんのお菓子を分かつていたけど、どうして食べたの？」と、つい食べちゃったのね」と、気持ちを代弁して、それを素直に出すよう促してみたいかがでしょう。